



村の文化を未来につなげる

東海音頭制定40周年

4年ぶりに開催された今年の東海まつりイベントでは、東海音頭保存会を中心とした総勢500人の方が息の合った東海音頭を披露しました。今回は、令和2(2020)年に東海音頭が制定40周年を迎えたことを記念して、東海音頭の歴史や東海音頭保存会会長のインタビューをご紹介します。

【問い合わせ】中央公民館(☎282-3329)

東海音頭の歴史

東海音頭は、昭和55(1980)年に、東海村合併25周年記念事業の一環として制定されました。昭和59(1984)年、東海音頭の保存と踊りの普及などを目的として結成されたのが東海音頭振興会で、現在の東海音頭保存会に当たります。同保存会の尽力により、東海音頭は東海まつりや村内小・中学校の運動会のほか、地域の祭りなどで披露され、長きにわたり村民に親しまれています。

【東海音頭の沿革】

昭和55年	東海村合併25周年記念事業企画委員会の設立 茨城県民へ向けた歌詞の公募(応募数149点) 作曲は山路進一さん(作曲家)、歌手は都はるみさん(レコード大賞受賞歌手)、振り付けは榊原帰逸さん(東京舞踊学校(当時)の学長)に決定する 村民会館(現東海文化センター)で東海音頭発表会を挙げる
昭和59年	東海音頭振興会が結成され、指導者の育成を行う
令和2年	東海音頭制定40周年を迎える

東海音頭制定40周年記念事業として、今年の7・8月の2か月間、防災行政無線放送の正午の時報を東海音頭のメロディに変更しました♪



東海音頭を後世へ伝えていくために…

星トシ子さん
(東海音頭保存会会長)

■ 4年ぶりに東海まつりで東海音頭を披露したお気持ちは？

新型コロナウイルス感染症の影響で3年間東海音頭を披露することができなかったので、今回の祭りで元の活気を取り戻したいというのが望みでした。これまで以上ににぎやかな東海まつりの様子を見ていて“村民がみんなで心をつなげて踊れる踊り”という東海音頭の目標を達成できたと喜んでます。

■ 今後の抱負を教えてください

これからも若い人たちに東海音頭を踊り続けてほしいと思います。そして、東海音頭が100年続くことを願っています。今回の東海まつりで中学生がとにかくい表情で踊っていたのを見て、この先の希望につながる思いがしました。



東海音頭を一緒に踊って、東海村の文化に触れてみませんか？

東海音頭保存会では、東海まつりで踊りを披露しています。ほかにも、地域の祭りやイベントでの演舞、学校行事に向けた東海音頭の講習会や指導、会員同士の親睦を深め

る研修会、東海音頭のCD・DVDの貸し出しなどを行っています。また、YouTubeで東海音頭の動画を公開していますので、興味がある方は、ぜひご覧ください。



▲詳細はこちら